



説明をする萩原市長

自助努力に対し行政が支援

皆さん自分なりの解決策を考えていて、頼もしく思いました。まちの活性化について、わたしは中心商店街にまず自助努力をと、お願いしてきました。市民が自ら努力し、行政はその支援を行うことが大切です。だんぱえ踊りもそうでした。自ら参

加できる祭りを望む声が増え、上がり、それが実って、今では大勢の人が参加しています。わたしは、対話による「開かれた市政」を念頭に、市民参加のまちづくりを推進するため、市からさまざまな情報を発信しています。「広報まえばし」をよく読んでいただくようにお願いします。

前橋は自動車社会、道路は車を中心です。運転できない人のため、バスなどの活性化を排

自動車社会に思う

高齢者と出掛け、気付いたこと。それは、道路に段差が多い、スロープのある店が少ない、障害者用駐車場が狭く健常者に使われていたりなどです。障害者に優しいまちづくりを。



米山 宏さん (製造会社勤務)

群馬はイベントが多いのに、知名度がありません。社会人がスポーツをする環境がなく、有望な学生が流出してしまっています。前橋の名のついたリーグチームができたらいいですね。

マイバスにかかわる仕事をしています。実際に乗ってみると、まちには結構人出があると感じました。マイバスは高齢者に配慮したノンステップ。将来前橋



鈴木 貴博さん (バス会社勤務)

マイバスの顔に

教員をしています。勤務校では、地域の方が学校行事に熱心に協力してくれます。地域との結びつきは大切。良い環境だと思います。学校の施設がもう少し充実するといいですね。



佐藤 則行さん (中学校教員)

学校と地域が協力

新聞記者として前橋の発砲事件取材し、暴力の根絶へ向け



関口 健太郎さん (新聞記者)

安全対策と活性化

国際化が進む現在では、英語が必要。わたしは海外で暮らし、ときに英語が話せず、残念な思いをしました。帰国後、子どもたちが外国人と無邪気に話すのを見て、小さいころからの英会話教育が必要と考えました。



砂賀 美絵子さん (結婚式場勤務)

英語は子どもから

の顔にならなければいけないし、そうなれると思います。

前橋は自然と文化が調和した都市で、子どものころは、おしやれなイメージがありました。



田中 美穂さん (百貨店勤務)

ニーズに合わせて

前橋は空き巣などが少なく、安全で住みやすいまち。一方で活気がありません。若者中心の



関口 千寿さん (警備会社勤務)

“だんぱえ”をPR

た取り組みが必要だと感じました。また、まちの発展には、中心部に核となるショッピングモールや学校の誘致が必要です。



室橋 容子さん (弁護士)

障害者にも優しく

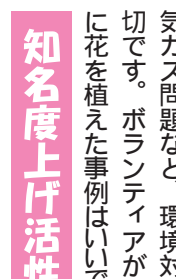
各世代の生活様式を分析し、それぞれのニーズに合わせてまちづくりが必要です。



関口 有美さん (設備会社勤務)

総合的まちづくり

祭りでもちに人を呼び戻すことが必要。メディアなどでだんぱえ踊りをもっとアピールしては



矢島 直樹さん (自動車会社勤務)



矢島 直樹さん (自動車会社勤務)

前橋は行政施設が多く、子どもの社会理解に最適です。子どもが参加できるイベントも豊富。自然も豊かで、地域・家庭・学校の連携も強く感じます。



多賀谷 裕美さん (小学校教員)

文化と自然が魅力

この店舗に見立て、総合的なまちづくりをする必要があります。